

2021年3月期 第2四半期決算

決算説明および成長戦略

三浦工業株式会社

代表取締役 社長執行役員CEO 宮内 大介

2020年11月20日

熱・水・環境のベストパートナー

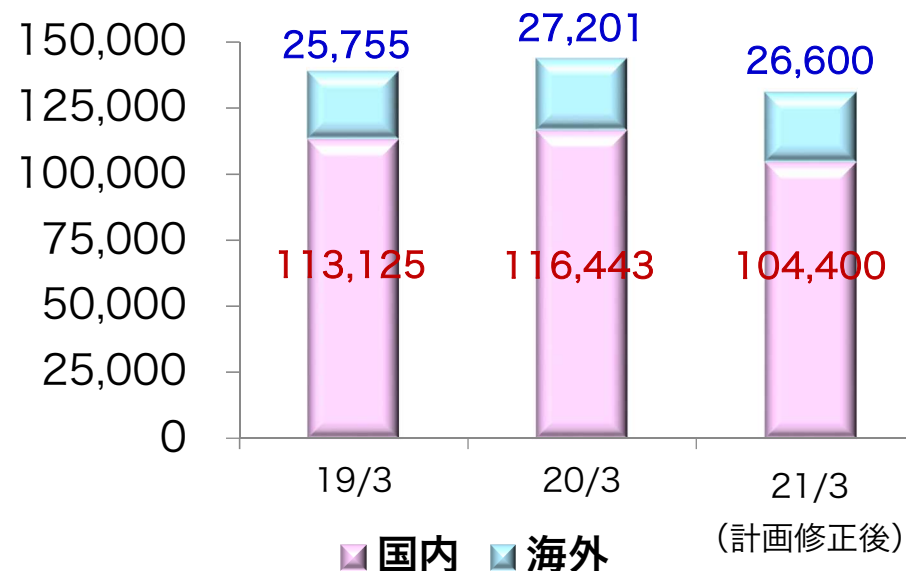


<会社概要>

社 名	三浦工業株式会社
所 在 地	愛媛県松山市堀江町 7 番地
設 立	1959年 5 月
ミウラグループ (三浦工業含む)	国内 10社、海外 17社 ※ 2020年9月30日現在
従 業 員	グループ 6,028名 うち海外 1,749名 (29%)
事業内容	機器販売事業 メンテナンス事業
格付情報	発行体格付 A (維持) 2019年12月公表 株式会社格付投資情報センター (R&I)

【連結売上】

単位：百万円



<IFRS>	19/3 実績	20/3 実績	21/3 修正後計画
売上収益 (百万円)	138,880	143,645	131,000
営業利益 (百万円)	16,682	18,540	15,000
税引前利益 (百万円)	17,130	18,756	15,300
親会社の所有者に帰属する 当期利益 (百万円)	12,280	13,746	11,000
基本的 1 株当たり当期利益 (円)	109.10	122.01	97.63

目次

1	上期実績および年間計画	4
2	2021年3月期第2Q業績	9
3	利益配分、株式の状況	18
4	製品による環境貢献（省エネ・省水型 純水システム）	20
5	中国の進捗と今後の見込み	28
6	参考資料	36

注意事項

本資料のうち、今後の計画・見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値とは異なる場合があります。掲載内容には、細心の注意を払っておりますが、掲載された内容に基づいて被った損害については、弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

1. 上期実績および年間計画

熱・水・環境のベストパートナー



■ 上期実績

新型コロナウイルス感染症の影響により機器販売が低調に推移
事業環境が悪化する中でも、メンテナンス事業の収益性は向上

<IFRS>	19/9 実績	20/9 実績	前年同期 差額	前年同期 比
売上収益（億円）	677	615	△61	△9.1%
(内訳) 機器販売	393	354	△38	△9.7%
メンテナンス	191	202	+10	+5.6%
ランドリー	92	58	△33	△36.6%
営業利益（億円） 営業利益率（%）	87 (12.9%)	80 (13.0%)	△7	△8.1%
税引前利益（億円）	88	81	△7	△8.4%
親会社の所有者に帰属する 当期利益（億円）	63	57	△6	△9.9%

■ 年間計画の修正

(国内) 経済活動はゆるやかに回復に向かっているものの設備投資意欲は減退
 (海外) 中国・韓国では、省エネ提案営業により着実に受注を確保

<IFRS>		21/3 修正前 (5月公表)	21/3 修正後 (11月公表)	差額
売上収益（億円）		1,390	1,310	△80
営業利益（億円） 営業利益率（％）		150 (10.8%)	150 (11.5%)	-
税引前利益（億円）		153	153	-
親会社の所有者に帰属する 当期利益（億円）		110	110	-
為替 レート	USD	108.0	106.9	-
	元	15.0	15.2	-
	WON(100)	8.9	8.8	-

【減収要因】

- ・国内事業環境は引き続き低水準で推移するとの見方であり、設備投資案件の延期が懸念される
- ・中南米、アセアン等は新型コロナの影響による販売鈍化
- ・造船建造期間の長期化による船用機器全般の販売遅延
- ・ランドリー市場は、下期も厳しい環境が続き需要の回復が見込めない

【販管費低減】

- ・新型コロナウイルス感染症による行動制限下での支出抑制
- ・経費削減（広告宣伝費等）

2021年3月期 年間計画の修正 ＊利益は修正なし

単位：億円

年間売上高		20/3 実績	21/3 修正前計画	21/3 修正後計画	増減
国内	ボイラ	635	635	585	△50
	アクア（水処理機器）	40	39	39	-
	船用	114	121	118	△3
	食機・メディカル	113	111	106	△5
	ランドリー	190	141	126	△15
	その他（特機・新事業開発・環境 等）	72	72	70	△2
	小 計	1,164	1,119	1,044	△75
海外	米州（アメリカ・カナダ・ブラジル・メキシコ）	57	56	51	△5
	韓国	81	79	79	-
	中国	85	90	95	+5
	アセアン・台湾	49	46	41	△5
	小 計	272	271	266	△5
合 計		1,436	1,390	1,310	△80

事業別 業績見通し

ボイラ	・ボイラ販売台数が減少 ・下期では物件の延期が懸念される	
アクア	・新型コロナウイルスの影響により物件が下期へ期ズレ ・純水装置の引き合いが増加（冷凍食品等）	
船用	・造船建造期間の長期化による船用機器全般の販売遅延 ・バラスト水処理装置の販売は堅調に推移	
食機・メ ディカル	・セントラルキッチンの売上増加 ・コンビニ市場は低迷	
ランドリー	・リネン・クリーニング全般で需要減少 ・顧客の資金体力面で2年間は低調と予想	
その他	・上期は大型物件が売上に寄与、下期は低調	
海外	・中国、韓国は、積極的な販売活動により堅調 ・中南米・アセアンは、COVID-19で回復困難	

2. 2021年3月期第2Q業績

三浦工業株式会社

執行役員 財務統括部長 下坂 正

熱・水・環境のベストパートナー



セグメント別 上期業績

【国内】 メンテナンス事業は堅調に推移。機器販売は低調

機器販売 : 新型コロナウイルス感染症の影響により設備投資意欲が減退

メンテナンス : 有償保守契約の増加および提案活動により堅調に推移

ランドリー : リネン・クリーニング全般で設備投資意欲が減退

【海外】 中国、韓国では新型コロナウイルス感染症の影響は最小限

機器販売 : 中国にて省エネ診断により安定した受注を確保

メンテナンス : 中国で低NOx規制対応によるバーナー入替が堅調

【売上高】

【億円】	19/9	20/9	前年 同期比
国内機器販売	299	264	△11.6%
国内メンテ	161	168	3.9%
ランドリー	92	58	△36.6%
海外機器販売	93	89	△3.6%
海外メンテ	29	33	14.8%

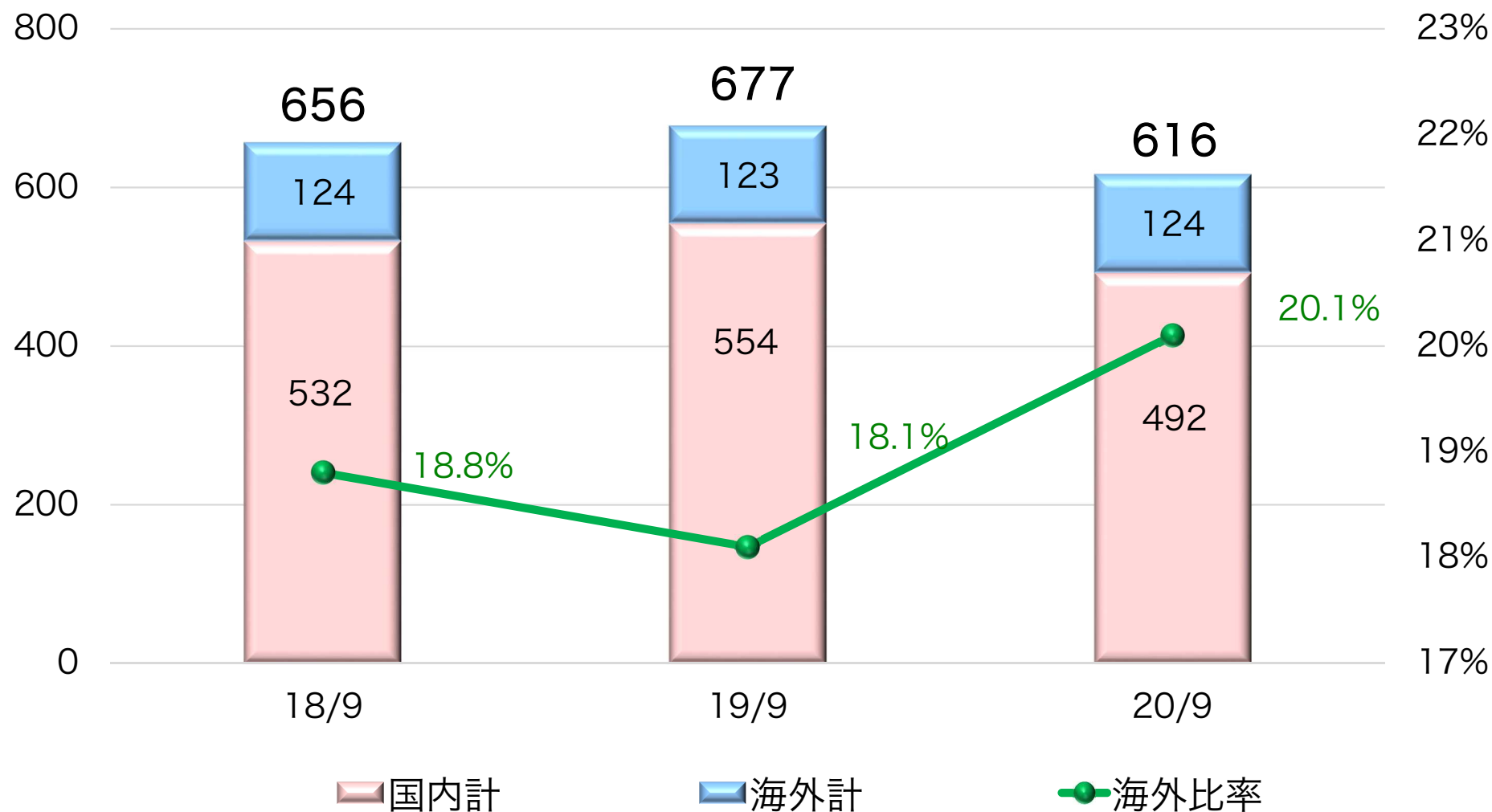
【利益】

【億円】	19/9	20/9	前年 同期比
国内機器販売	24	16	△32.9%
国内メンテ	47	50	6.4%
ランドリー	5	0	△97.7%
海外機器販売	7	7	△5.1%
海外メンテ	2	6	108.4%

国内及び海外売上推移

海外売上は毎年各国毎に凸凹があるものの
安定して推移

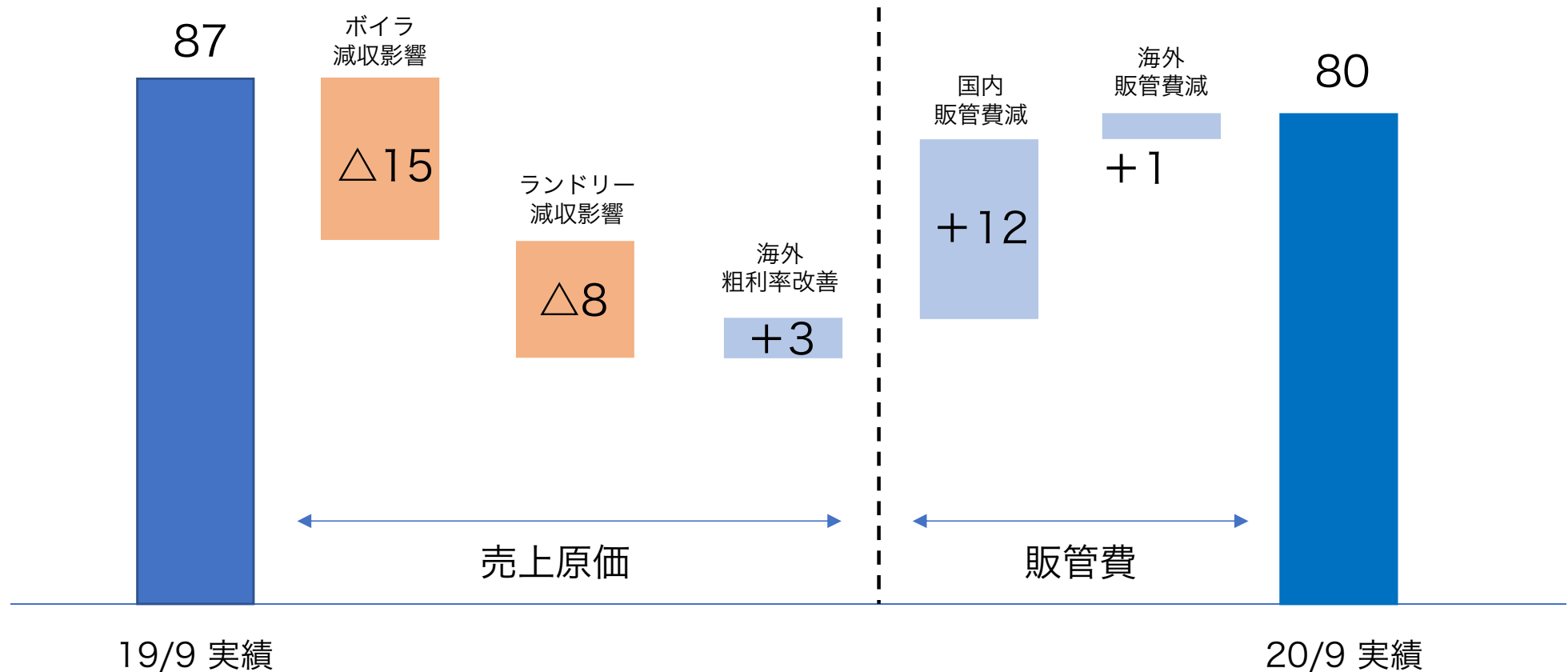
単位：億円



営業利益増減要因（前年同期差）

コロナ禍の行動制限による経費の削減があったものの、
各事業の機器販売における減収が影響し減益

単位：億円



上期計画 vs 上期実績

- 第1四半期における営業活動不足が9月売上の伸びに影響
- 行動制限されたことによる支出の抑制

単位：億円

	20/9 計画	20/9 実績	達成率
売上収益	630	615	97.7 %
営業利益 (営業利益率)	68 (10.8%)	80 (13.0%)	117.9 %
税引前利益	70	81	115.8 %
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	49	57	117.6 %

事業別 売上高

単位：億円

		19/9 実績	20/9 計画	20/9 実績	前年同期比
国内	ボイラ	299	268	264	△35
	アクア（水処理機器）	19	21	22	+3
	船用	57	66	62	+5
	食機・メディカル	56	52	50	△6
	ランドリー	92	61	58	△33
	その他（特機・新事業開発・環境 等）	31	35	35	+4
	小 計	554	503	492	△62
海外	米州（アメリカ・カナダ・ブラジル・メキシコ）	25	22	21	△4
	韓国	38	40	40	+2
	中国	39	46	46	+7
	アセアン・台湾・トルコ・オランダ	22	19	17	△5
	小 計	123	127	124	1
合 計		677	630	616	△61

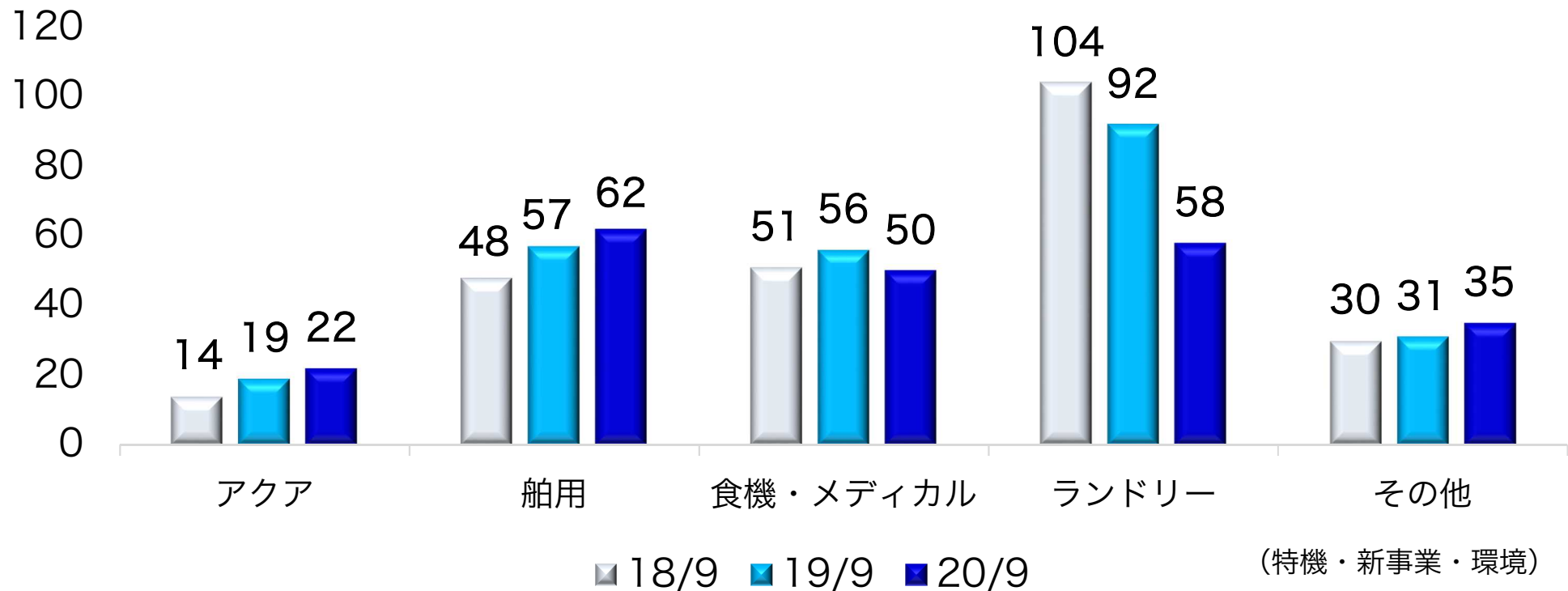
国内売上推移

アクア事業：メンテナンスが着実に成長

船用事業：バラスト水処理装置の販売は堅調に推移

メディカル：前年度消費増税駆け込み需要あり

【億円】



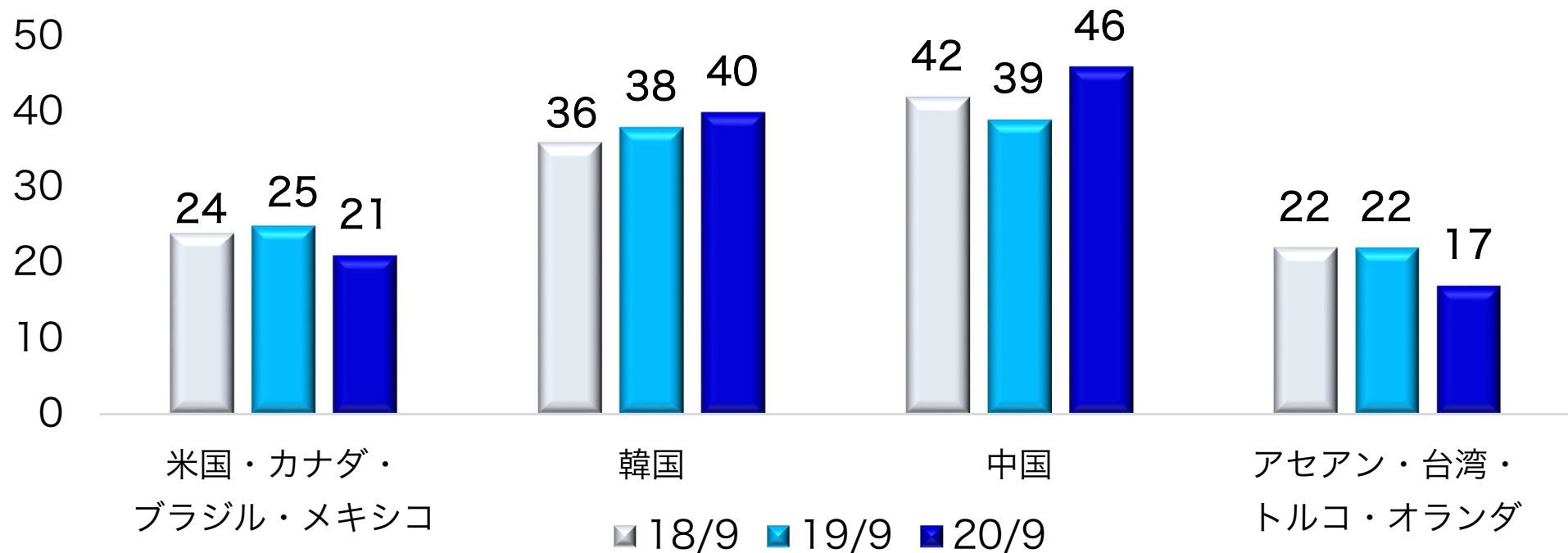
海外売上推移

中国は、省エネ提案で着実に受注を確保

韓国は、環境規制が追い風に！

米州・アセアンは、新型コロナウイルス感染症により
営業活動量が低下

【億円】



※18年度よりメキシコ、19年度よりトルコ、20年度よりオランダ連結追加

貸借対照表

自己資本比率 74.8% (前年期末対比 3.6%上昇)

流動資産：営業債権減 86億円、その他金融資産増 43億円 他

固定資産：有価証券時価評価増 17億円、使用権資産・無形資産他減 10億円

流動負債：営業債務減 45億円 他

固定負債：リース負債減 2億円、借入金減 2億円

純資産：利益剰余金増 34億円、有価証券評価益増 10億円

【億円】	20/3	20/9	増減
流動資産	1,094	1,059	△34
固定資産	778	786	+8
資産合計	1,872	1,845	△26
流動負債	462	393	△68
固定負債	76	71	△5
純資産	1,333	1,380	+47

3. 利益配分、株式の状況

熱・水・環境のベストパートナー



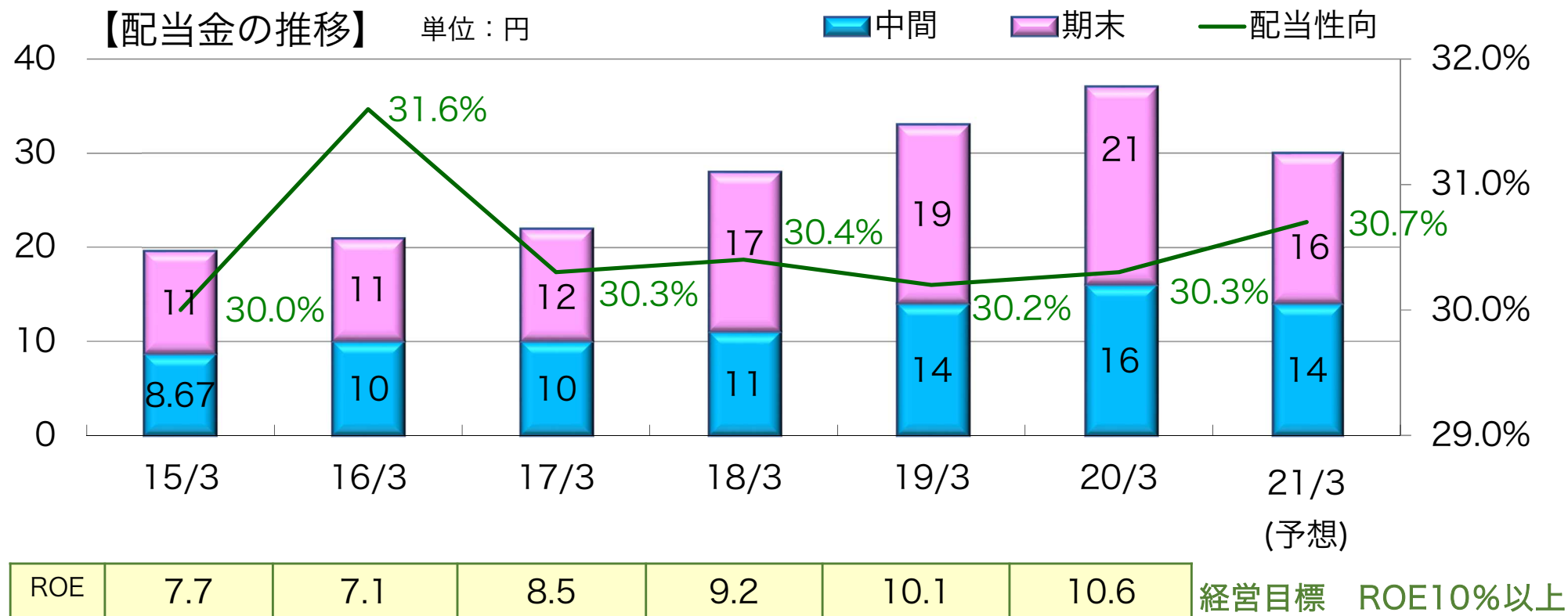
- ① 安定的な配当の継続
- ② 連結配当性向30%を目処

20年3月期

中間 16円
 期末 21円
 合計 37円

21年3月期

中間 14円
 期末 16円
 合計 30円 を予想



【ご参考】 ※2020年3月31日時点

発行済株式総数（自己株式除く） 112,696,195 株 、 自己株式数 12,594,917 株

4.製品による環境貢献

省エネ・省水型 純水システム

三浦工業株式会社

取締役常務執行役員 CTO
アクア本部長 越智 康夫

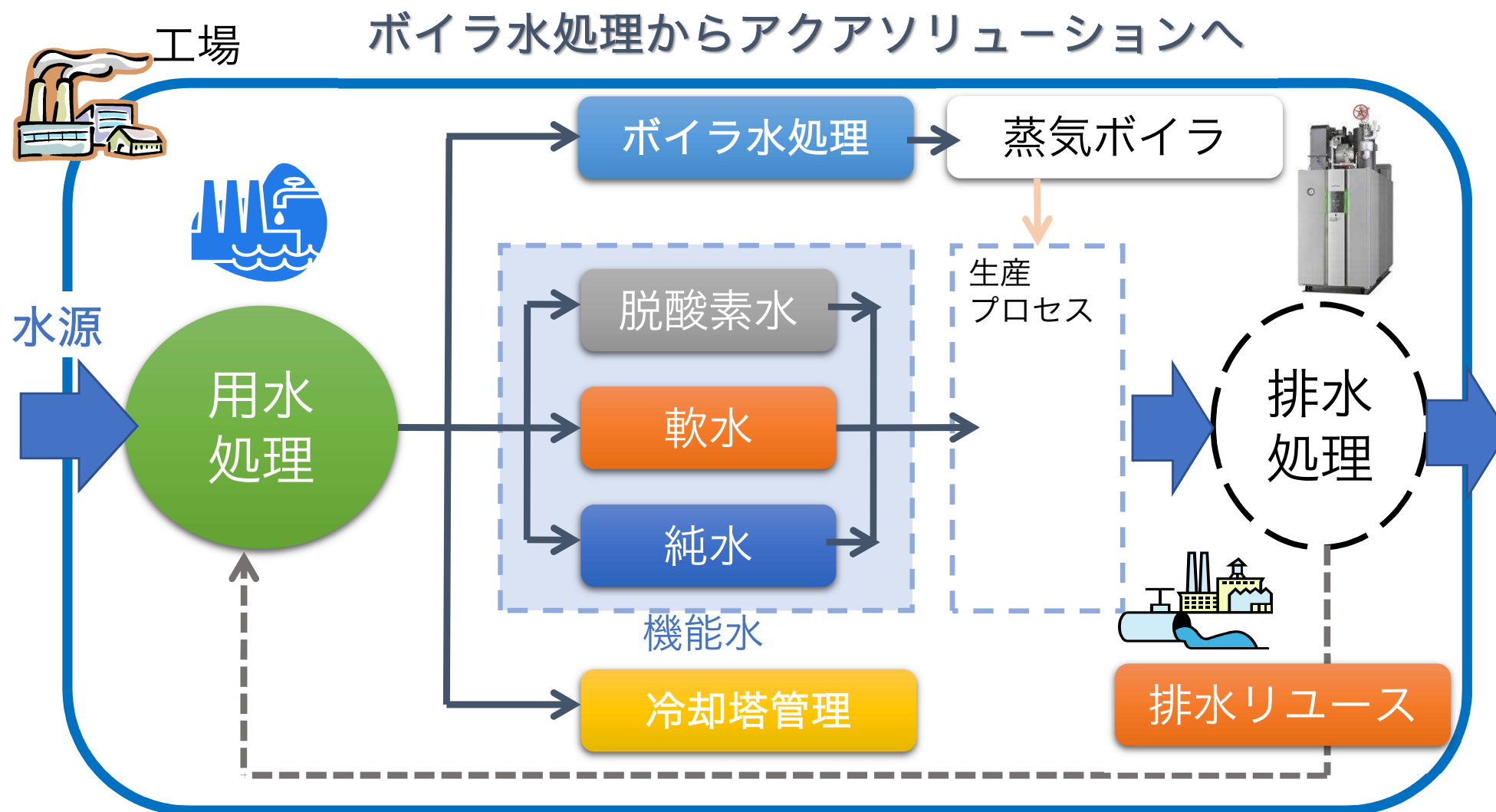
2020年11月20日

熱・水・環境のベストパートナー

MIURA

ミウラのアクアソリューション

産業の高度化の背景に、環境・安全衛生意識が高まったことにより、水ビジネス市場が今後も拡大が見込まれます。



純水と用途

純水を使うIT分野や医療・バイオでの市況が好調で純水システムの需要増加が見込まれます。

純水

「イオンや有機物などを限りなく除去した水」



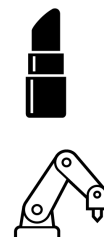
業種



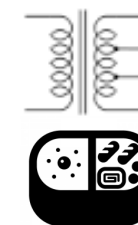
化学
製薬



飲料
病院



化粧品
機械



電子
食品

用途



製品用水



洗浄水

純水システムフロー例

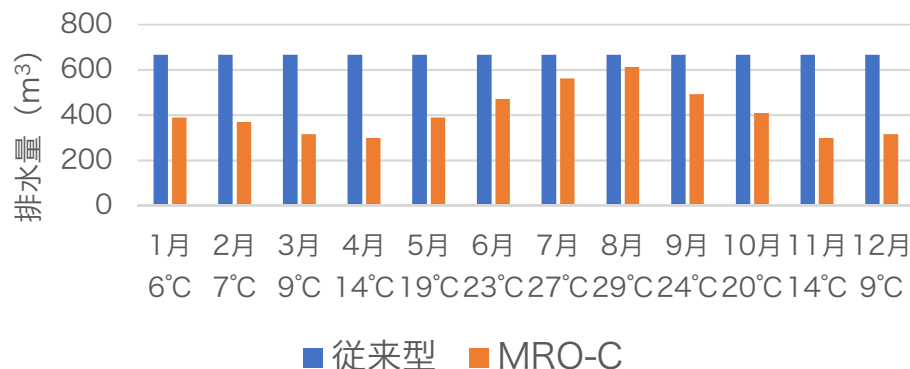
水質計（残留塩素、原水硬度、硬度、シリカ）



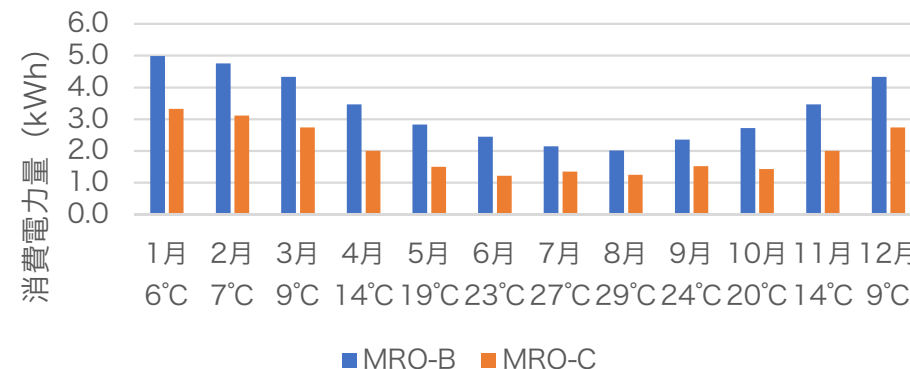
特長 1

RO装置：水中のイオンや不純物を90%以上除去する性質のRO膜（逆浸透膜）での脱イオン処理により、高純度の水を製造する装置です。

排水量

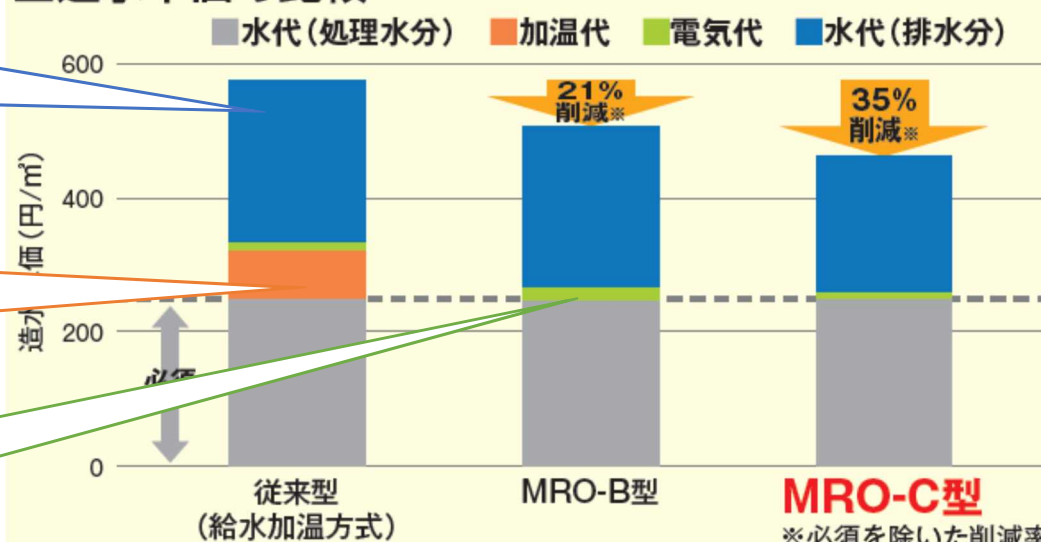


消費電力量



4.0m³/h 年12,000m³

■造水単価の比較



排水代
年290万円から
年48万円の削減

加温代
年89万円を削減
(CO₂年54トン削減)

電気代
年20～40万円を
年7～27万円削減



RO装置
(MRO-Cシリーズ)

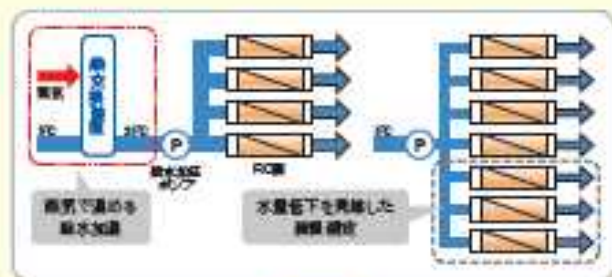


～ミウラの技術で生まれた3つのフィードバック制御～

処理水を一定制御

定流量フィードバック制御

ポンプの周波数を制御。水の粘性が上がる冬場でも流量を低下させません。



原水圧力を有効利用

給水圧力フィードバック制御

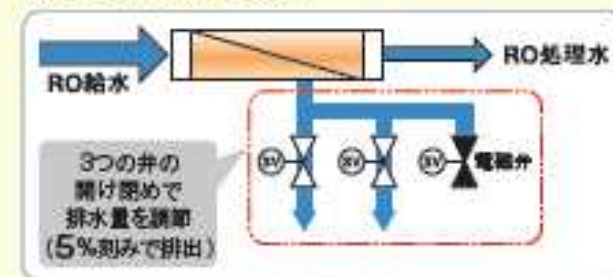
運転状況に応じて給水圧力を自動調整することで、RO装置のポンプの消費電力をより抑え、省エネに貢献します。



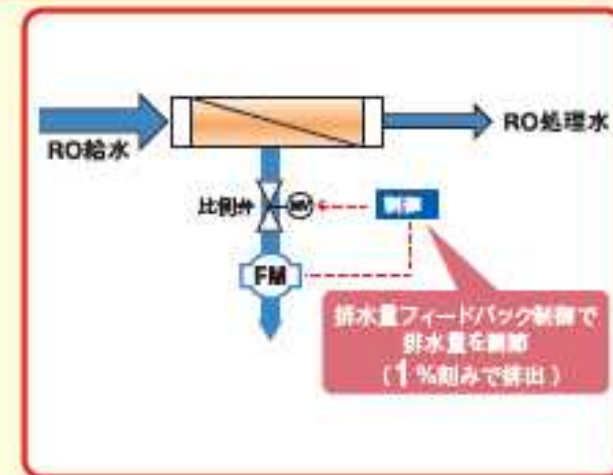
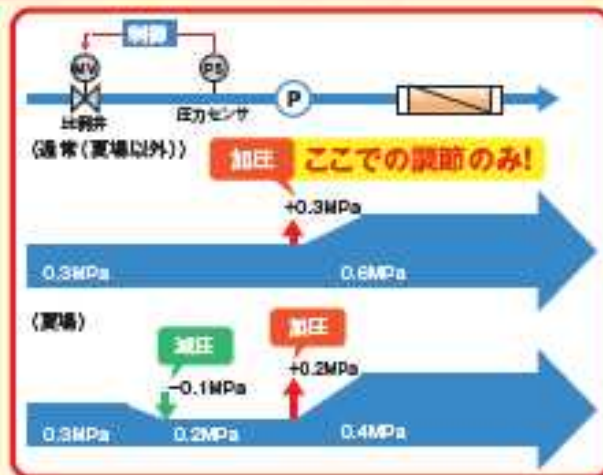
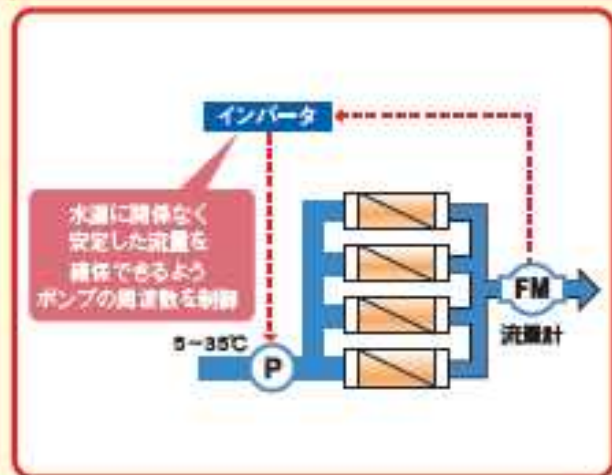
排水量の更なる抑制

排水量フィードバック制御

水温で変化するRO装置の許容回収率に対し、より多段階に追従させることで、更なる省水が可能です。



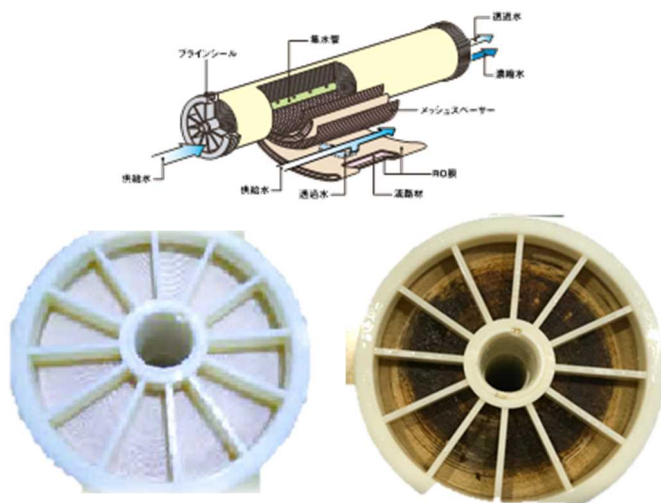
MRO-C



特長 2

排水率最適化ソフトの開発

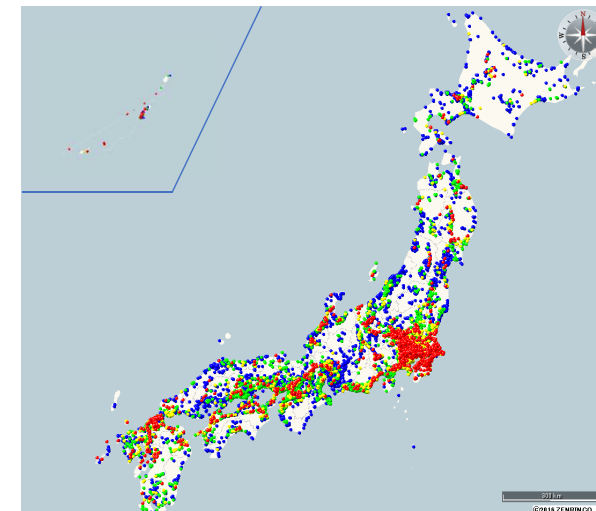
膜詰まりテスト



現場評価



水分析

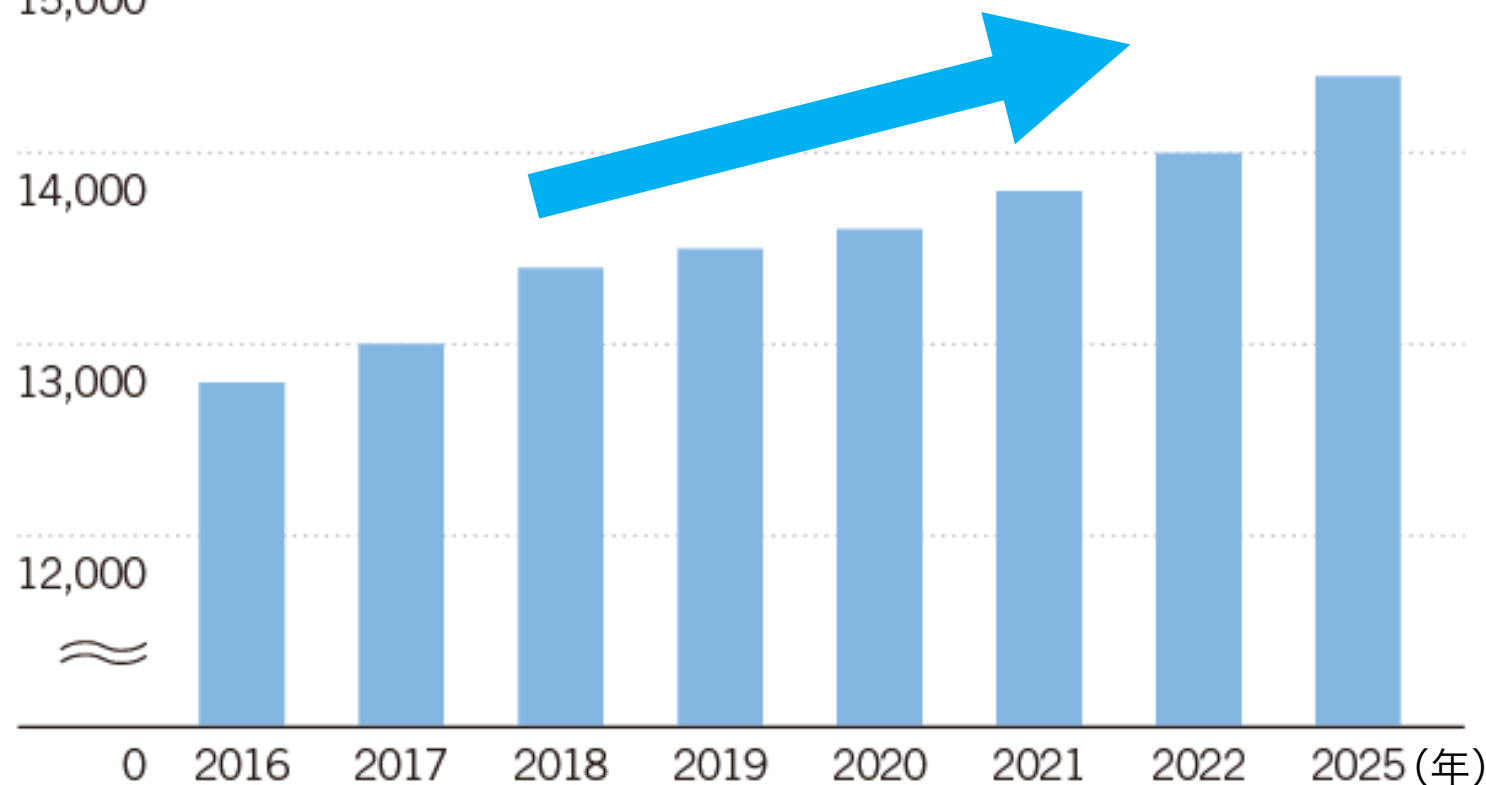


多くの社内試験と現場評価データ、年**1000万件**以上の水分析データをもとに、目詰まりやスケール化しない最適な排水率を設定する独自のソフトを装置に搭載。

より低い排水率で、省水を実現！！

純水製造装置の国内市場規模推移

(百万円) 15,000



出典：富士経済「2019年版 水資源関連市場の現状と将来展望」

※2019年は見込み 2020年以降は予測

【当社2019年度売上実績】

15億円/年



【当社2024年度売上予想】

25億円/年

※メンテナンス売上は含まず

5. 中国の進捗と今後の見込み

三浦工業株式会社

取締役常務執行役員
アジア・米州事業本部長 児島 好宏

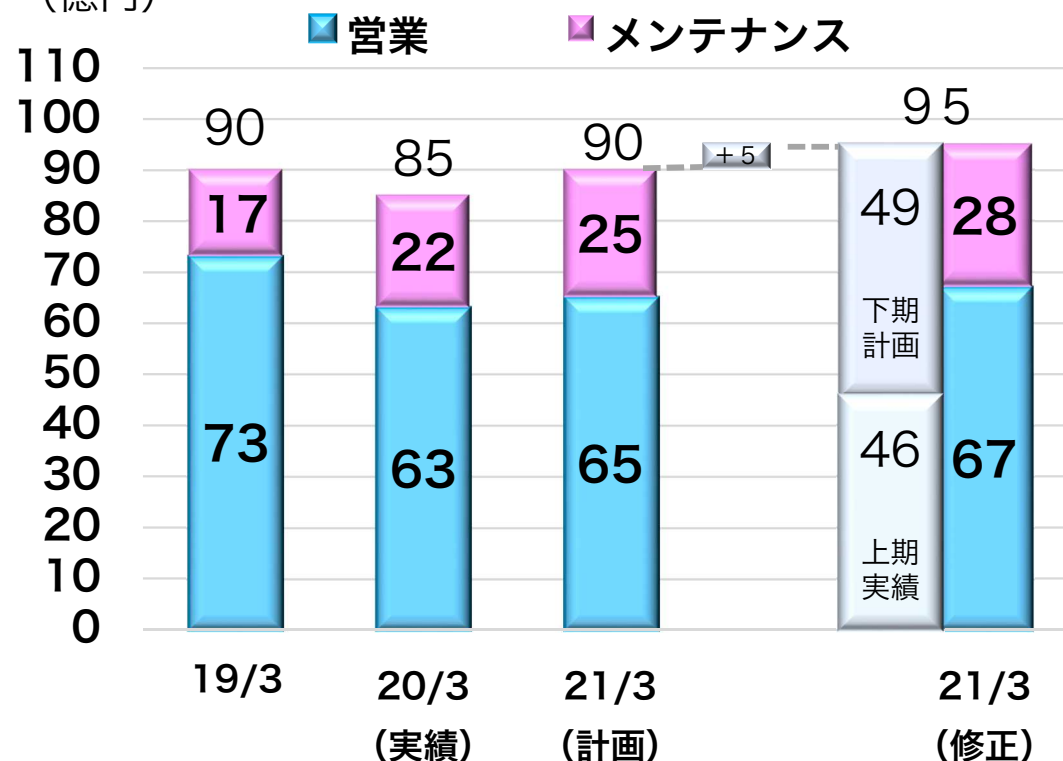
熱・水・環境のベストパートナー



2021年3月期計画と売上見込み

中国の売上推移

(億円)



中国GDP	2019年	2020年
1月～9月	前年比	前年比
第1次産業	2.9%	11.9%
第2次産業	5.6%	-1.3%
第3次産業	7.2%	6.2%
GDP計	6.2%	3.6%

戦略

- ・環境規制と省エネ提案によるガス焚きボイラ入替え

市場動向

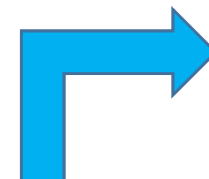
- ①COVID19の影響は最小限
- ②米中関係の影響
 - ・企業の投資意欲の減退
- ③中国景気鈍化
 - ・環境規制の緩和と改善時期の延期

売上増加要因

【営業】 省エネ診断により安定した受注を確保

【メンテナンス】 低NOx対応によるバーナー入替堅調

2 段階の環境規制への対応



二段階の環境規制段階

大都市部でのNOx規制対応が
2020年で概ね完了
21年からは地方都市へと移行

ロシアからのガスパイプライン
→ 新型コロナウイルスの影響
で一部ガス工事が遅延

第一段階

煤
PM2.5

石炭からガス

東北地域

第二段階

NOx

低NOx

地方（一部の都会）

メイン戦略

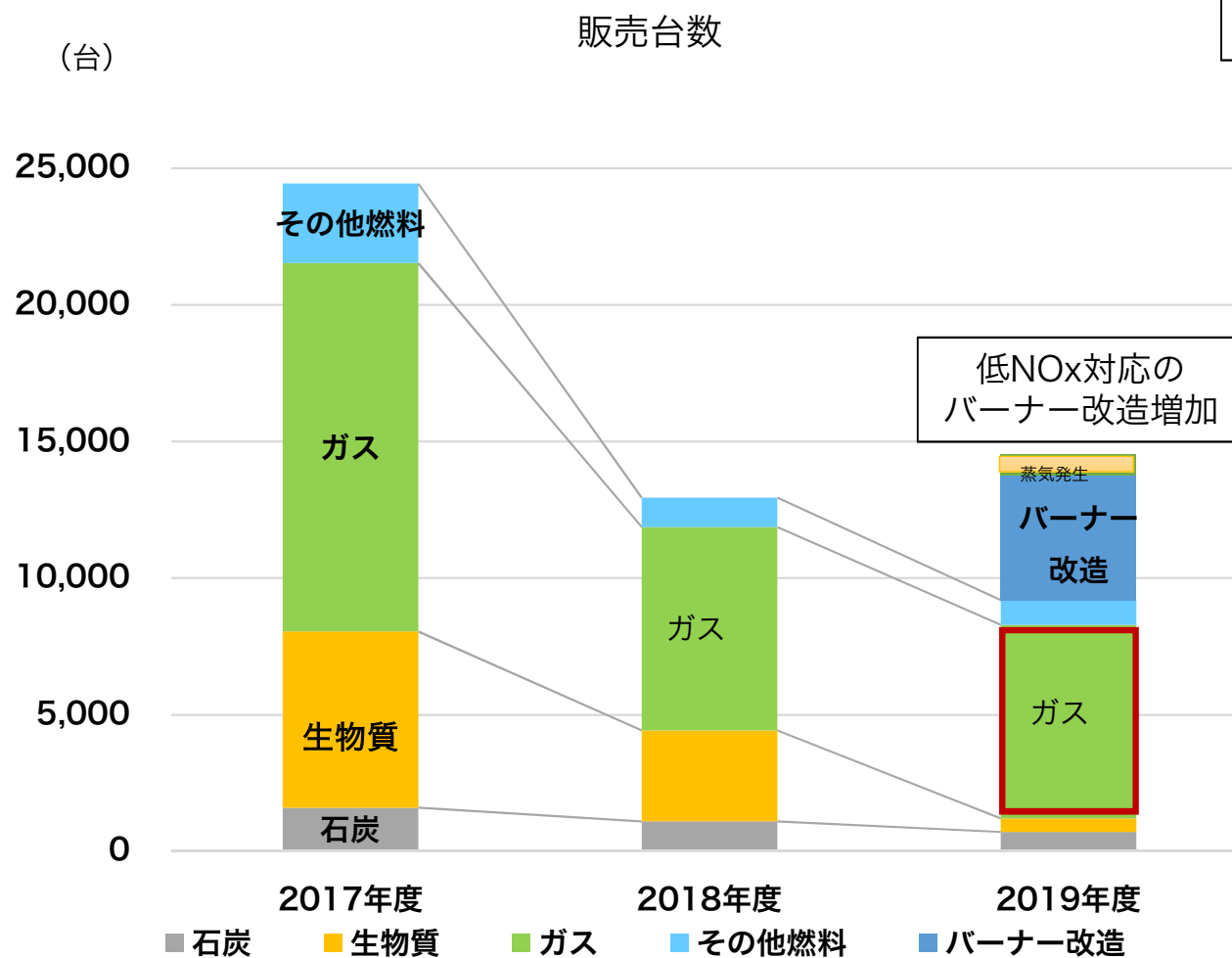
好況業種のガスボイラ入替え

- ・ メンテナンスの低NOxバーナー
交換工事は好調
→ 利益率アップの要因の1つ

- ・ 営業の他社ガス→ミウラガス焚
き入替えを遂行中

- 日誌負荷分析で、省エネ提案
を実施し、入替えを推進

中国ボイラ市場の変化（1月～12月）



2018年度と2019年度との比較

全体のボイラ市場 : 12.3% 増



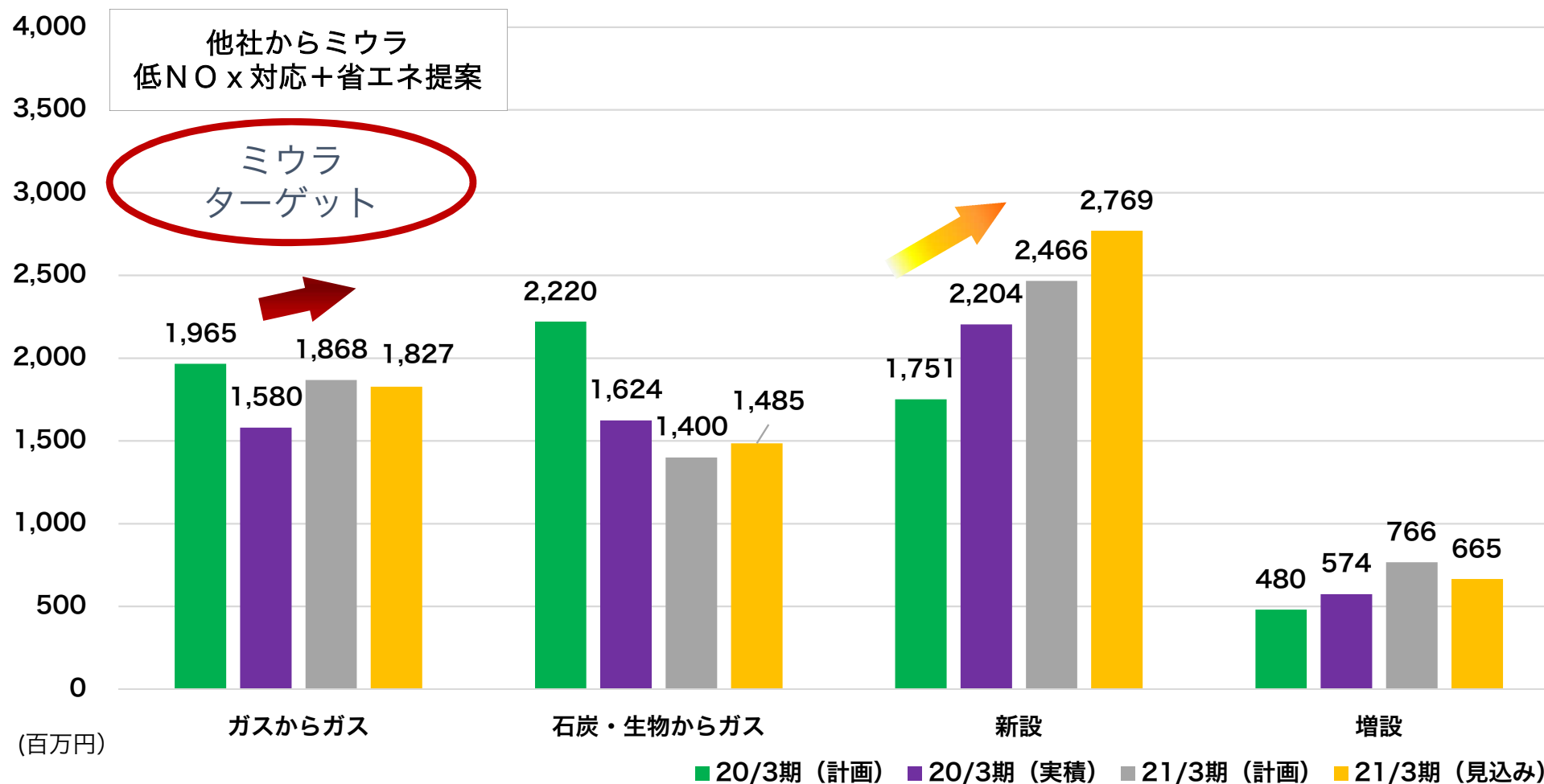
・バーナー改造を含めると増加

ガス焚き販売台数 : 4.7% 微減



・バーナー改造の他社ガスボイラ入替え戦略に変更

ボイラ納入区分推移（ミウラの納入先分析）



新設物件）

- ・ 大手企業が新築工場を建設
- ・ 環境規制（排水規制、化学工場規制）により工場移転が増加

中国ボイラ市場業種分析（ミウラの業種分析）

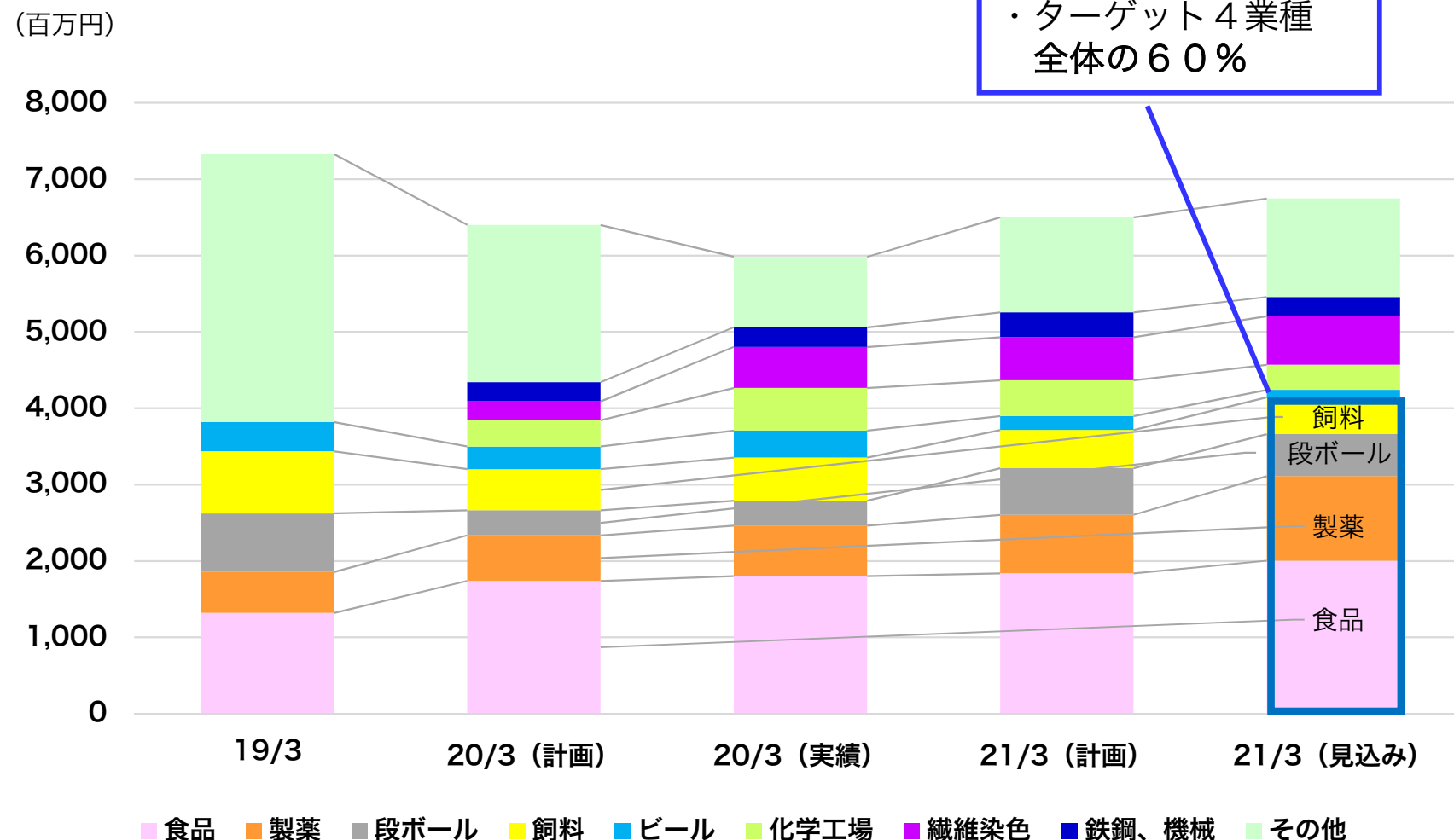
・コロナ禍に関係した業種が好調



ターゲット業種

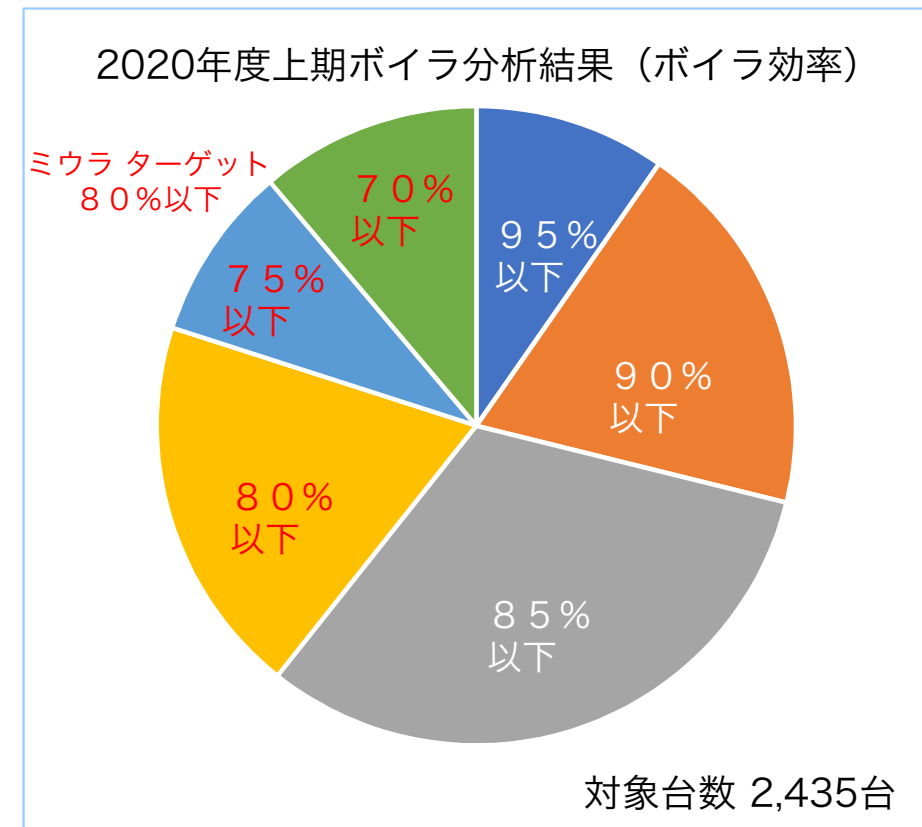
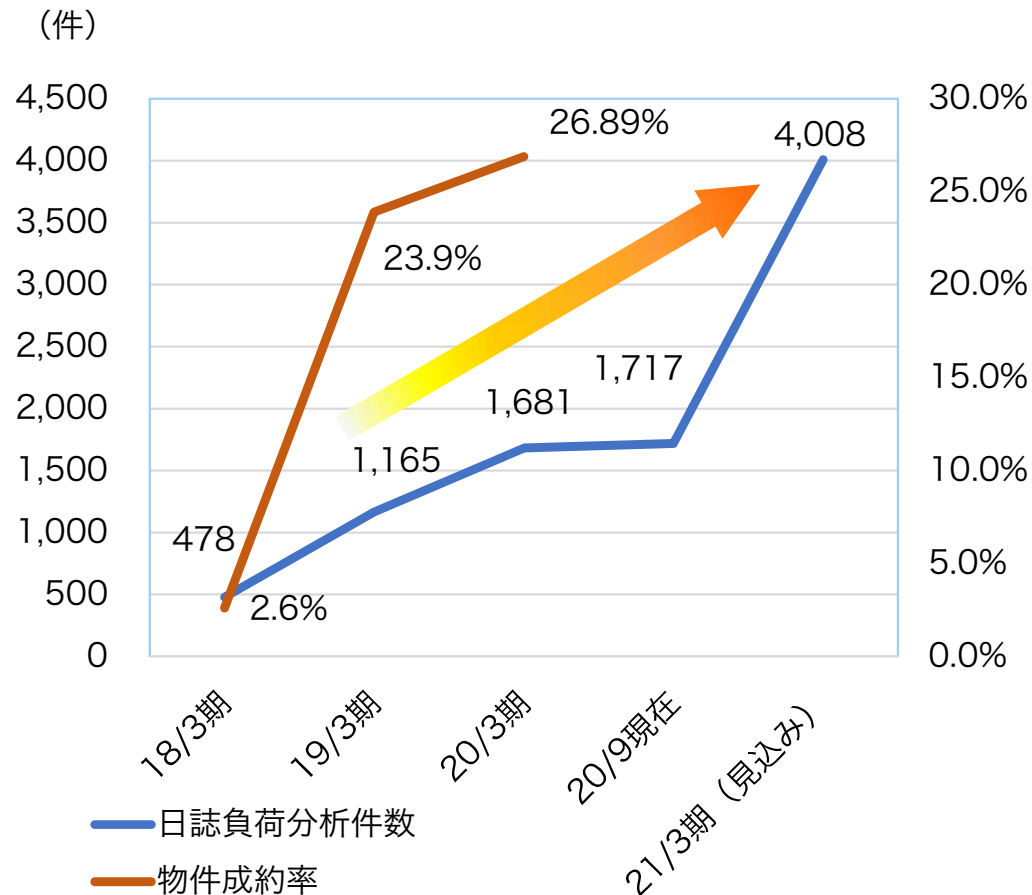
食品↑ 製薬↑ 段ボール↗ 飼料↗

・ターゲット 4 業種
全体の 60 %



ガスーガス戦略の具体的な施策（営業の強化→省エネ提案）

他社ボイラの日誌負荷分析を行い、より効率の良いシステムを提案する



注）物件成約した年と負荷分析を行った年が同年でない場合も含んでいます

参考）中国他社メーカーの平均効率
ワースト 10社平均値は 73%

ガス焚きボイラ製造用の新工場（本社工場）が完成

現在の工場から約6.5km に位置し、2工場体制による生産能力向上を目指します。加えて、商品開発用の実験場やメンテナンス要員のための実習場、オンラインセンター、社員セミナー施設等も収容したミウラグループ海外法人においては最大規模の工場となります。



2020年8月稼働開始



年産5,000台の生産工場を
目指す！



ガス→ガス焚き入替戦略

完成した蘇州の新工場

【中国新工場建設概要】

用地面積:5万㎡、建設延べ床面積：2.9万㎡、
工場棟RC造1階＋事務所棟RC造3階

為替レート

為替（平均レート）	19/9	20/9	増減率	21/3計画
USD	108.06	106.93	△1.67	108.00
CAD	81.73	78.72	△3.01	76.50
元	15.68	15.26	△0.42	15.00
WON（100W）	9.22	8.89	△0.33	8.90
ルピア（100Rp）	0.77	0.73	△0.04	0.70
台湾ドル	3.49	3.61	0.12	3.60
ブラジルリアル	27.56	19.91	△7.65	21.00
メキシコペソ	5.64	4.72	△0.92	—
タイバーツ	3.49	3.38	△0.11	3.30

統合報告書発行のお知らせ



ミウラグループは、株主・投資家ならびにステークホルダーの皆様へ、ミウラグループの持続可能な社会価値の創造と中長期の企業価値向上に向けた取り組みをお伝えするために、初めての統合報告書を発行しました。

財務・非財務の両面から当社をより深くご理解いただくための一助となれば幸いです。

統合報告書の内容は、以下のURLよりご覧いただけます。

https://www.miuraz.co.jp/ir/integrated_report.html

熱・水・環境のベストパートナー



お問い合わせ先

三浦工業株式会社 経営企画室

TEL 089-979-7045

FAX 089-979-7011

URL <http://www.miuraz.co.jp>